

同窓会だより 号外

夢追塾同窓会

# 熊本地震 ボランティア日記(6)

7月後半編

7月分の残りをまとめて報告します。

7月4日(月) 西原村(武方)  
7月15日(金) 西原村(新見)  
7月16日(土) 益城町(新見)  
7月19日(火) 西原村(武方)  
7月21日(木) 益城町(武方)  
7月25日(月) 益城町(溝田、武方)  
7月26日(火) 益城町(高上、武方)  
7月27日(水) 益城町(池上、泉、新見、武方)  
7月30日(土) 益城町(高上、武方)

(敬称は省略)

7月4日(月) 西原村(武方)

くもり 男7人+女3人

作業内容:農家の倉庫裏の法面防護及び土砂流入防止

梅雨の影響もあり、約1ヶ月ぶりの熊本です。梅雨の中休みで西原村にきました。降り続いた雨で、雨後対策の作業が多いようです。濡れた畳や家具の搬出、倉庫などに流入した土砂の搬出など。我々は山間部の農家の倉庫への土砂流入防止と倉庫裏の法面の防護作業でした。結構きつくて汚れる作業でしたが、何とか仕舞をつけました。作業後には依頼者からサツマイモと里いもの振るまいがありました。勿論取り放題。



8:10 西原村ボランティアセンターに到着



8:30 受付開始



受付が終わり、マッチングを待っています

隣のテントでは久留米社協のグループが先にオリエンテーションとマッチングをしています。

このあと、6人で農家へ 1時間ほど遅れて4人が合流 10人で作業しました



東京からの男性

熊本市内からの

福岡市からの女性

東京からの男性

沖縄からの  
姉弟

小国町から大塚さ

北九州から武方

久留米？からの男性

### 7月15日(金) 西原村(新見)

新見は初めて西原村に入りました。自治体によって受け入れ態勢やシステムがかなり違うことに戸惑いながら受付を済ませ、全壊し、業者による解体と撤去が終わった後の老夫婦の家へ。地面に残った木材、コンクリートや壁材、ガラスなど雑多ながれきを分別収集し、集積場に運搬する作業でした。

終了後は、翌日のために近くの道の駅で車中泊。



### 7月16日(土) 益城町(新見)

この日は、初めてグループリーダーをやってみました。

依頼者との連絡・打合せや、グループ内での分担と手順を確認して作業開始。熱中症予防のため水分補給と休憩時間の確保に気を使いました。

作業内容は、中年女性と老母の二人だけの家で、ブロック塀の片づけでした。

「女手では無理なので・・・」とボランティアを頼んだことを恐縮しながら、けなげに作業を手伝うかのように近くで他の片づけをしたり、お茶を出してくれたりする姿に、ボランティアとしてのやりがいを実感しました。



### 7月19日(火) 西原村(武方)

快晴 男4人

作業内容:避難所(山西小学校体育館)の片付け・清掃等

梅雨でボランティアも休止状態でしたが、梅雨明けで再開しました。でも、今度は熱中症が心配になる状況になっています。

西原村では仮設住宅も完成し、16日～18日の3連休で避難所から仮設住宅への移動があったようです。今日は各避難所(学校の体育館など)を学校に返還するための片付け・清掃などが主な作業でした。

武方は男4人で山西小学校に入りました。運動場に残った轍の跡の地ならし、不要になった TENT や水槽の撤去、風の里キャンプ場から借用していた寝袋の返納、体育館の片付け・床清掃など。

これで子供達も運動場や体育館が使えるようになりますね。



朝、受付待ちのみなさん



ボラセンの受付の様子



ここではみかん箱が椅子になっています

快晴 男13人+女2人

作業内容:築300年の旧家の家財等の片付け、集積場までの運搬

いずれ解体するとのことで、今回の依頼は解体するための前作業の様でした。築300年とのことで、梁・柱が強固で建物の倒壊はありませんでしたが、土壁、天井板、床板、屋根などが損傷しており、判定は全壊(赤紙)でした。本来、赤紙判定の家屋内の作業は禁止ですが、みんなで協議、建物自体はしっかりしているので、依頼者の要望を受け入れることにしました。

我々の作業は、壊れた家具類や生活用品、剥がれ落ちた天井や土壁、落下した瓦などの分別・積込み及び集積場までの運搬作業でした。男10人+女2人で乗り込みましたが、作業量が多いので午後から男3人の応援を要請しました。軽4輪トラックで10車分の搬出をしましたが、多少の作業を残して時間切れとなりました。

手間がかかったのは分別作業でした。

- ・家具類に付いている鏡や金具類(蝶番やボルト類など)を全て分別、
- ・襖や障子についても木枠と張り紙を分離
- ・土壁についても内部の土と表面の石膏の分離 等

これらが不備だと集積場で受け取ってもらえないとのことでした。分別作業には小道具が必要になりますが、ドライバーセット、六角レンジセットなどを持参している男性もおり、流石との思いでした。



受付に並ぶ皆さん 左が継続、右が新規



マッチング待ち



ギター伴奏で歌のサプライズ  
今日の歌は「上を向いて歩こう」



マッチングが終わり、リーダーを囲んで  
作業の落ち合わせ



必要な資機材を借り入れて、数量確認

本日は15:30まで作業、  
大変疲れました。

7月25日(月) 益城町(溝田、武方)

5

快晴 男7人+女1人

作業内容: 民家外周の瓦・ガラスの片付け、集積場までの運搬

本日は溝田さんが参加しました。日に照らされながらの作業、お疲れ様でした。



オリエンテーションを受ける溝田さん



今日の歌は  
「幸せなら手をたたこう」



マッチングを待っています。  
今日の作業は何だろう？

7月26日(火) 益城町(高上、武方)

快晴 男10人+女1人

作業内容: 1坪程度の御堂の解体

6

本日は高上さんが参加しました。  
依頼内容の「御堂の解体と搬出作業」は午前中で終わり、一旦ボラセンに引き上げました。  
ところが同じ方から 御堂の横の倒れたブロック塀も片付けて欲しい旨の再依頼があり、  
昼食後再度現地向かいました。



オリエンテーションを受ける 高上さん



今日の歌はラジオ体操の歌



一旦引き上げてボラセンで昼食



作業を終えて男2人



那賀川町から単身参加の御嬢さんも一緒に



作業の終わりに 今日のメンバーと集合写真

7月27日(水) 益城町(池上、泉、新見、武方)

快晴 午前中 男3人+女3人、午後 男7人+女5人?

作業内容: 午前中 素掘り井戸の水の汲み出し(午前中で中止)

午後 場所を変えて、土のう積、ブロック塀解体・搬出

池上さん: 傾聴リスの会の仲間  
泉さん: 英会話の仲間

本日は池上さん、泉さん、新見さんが参加しました。

作業内容は

AM: 素掘りの井戸の水をバケツで汲み出し。依頼者への事前確認で、地下水位低下で地下水の流入は無いとのことで作業開始。かなり汲み上げた後、水位が回復していることを確認。依頼者と協議の上、作業中止とする。中途半端な作業となったが、井戸自体は健全であることが確認できたので、依頼者へ伝える。

PM: 午後からのマッチングに参加、午前中に作業終了した他のグループと一緒に、法面の土のう積、ブロック塀の解体・積み出し作業で汗を流す。午前中の消化不良を午後の作業で解消する。初参加の泉さんも達成感があったかな?



池上さん

泉さん

武方



井戸水の汲み上げの様子

新見さん撮影



ちょっと腹ごしらえ



ボランティアセンターで昼食

左から二人目は、本日より一緒に作業した女性で、  
単身大牟田市から通い、熊本市と益城町で30回ほど  
参加しているとのことでした。



我々は午後のマッチングに望みました

## 7月30日(土) 益城町(高上さん、武方)

快晴 男女 19名

作業内容: 民家の家具・家電、落下瓦、木材等の積み込み、搬出

本日は高上さんが参加しました。

土曜日ということで参加者が多数、我々は8:10に着きましたが、ボラセン入口で制止され、数分前に締め切ったとの説明。納得出来ないの「ナンダカンダ」言いながら制止を振り切って車を進入、参加にこぎつけました。

作業内容は民家の破損した家具・家電、木材や瓦類の分別・積込、集積場までの運搬作業でした。10人程度の作業量に19人が配置され、午前中で終了しました。

ボランティアセンターでは昼食にカレーライスとサラダの振る舞いがありました。カレーが大変おいしく、みなさん大満足の様でした。このようなことが定期的になされているようで、たぶん地元婦人会などの皆さんの感謝を込めたおもてなしでしょう。





カレーを頂く高上さんと、宗像市から来られたご家族(ボランティアセンターにて)

8月10日まで随時ボランティアを続けます(武方)